

# Sho Fujiwara



「Landscape」1992年 アクリル・ミクストメディア・コラージュ、和紙 69.7×104.3cm

## 藤原祥展

そこではいつもふしぎな風が青い土と  
はなしている

10/10 [金]  
11/16 [日]  
9:00~21:00

休館日 月曜日 (10/13, 11/3は  
開館), 10/14, 11/4  
観覧無料 主催 砂丘館

同時期開催

藤原祥展

10/17 [金] ~30 [木]  
11:00~18:00 (最終日~17:00)  
新潟絵屋  
新潟市中央区上大川前通10-1864

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体  
新潟市中央区西大畑町5218-1



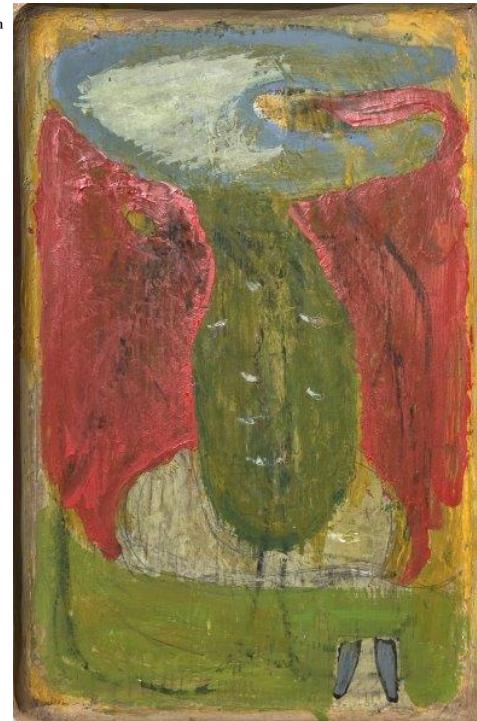
上左「歯欠けの自画像」1973年 サンギース、紙 38.0×55.0cm

上右「空を飛ぶ（椰子）」1998年～2025年

木材・FRP樹脂・エボキシ樹脂 176.8×73.8×37.2cm

下 「サボテンのある静物」 2025年

ミクストメディア、木 49.6×31.6m



## ギャラリートーク

10/18 [土] 14:00-15:30  
藤原祥 + 大倉宏（砂丘館館長）

参加料500円 定員30名  
申し込み 砂丘館 Tel.Fax. 025-222-2676  
Eメール yoyaku@bz04.plala.or.jp  
申し込み開始は9月25日（木）9:00～（メールも）  
\*いただいた個人情報はこの催しに関する連絡以外に使用しません。

- 専用駐車場はございません。公共交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用下さい。
- 新潟駅からのバス  
浜浦町線C2系統（バスター・ミナル9番線）観光循環バス（同18番線）  
「西大畠坂上」下車徒歩1分

（私たちは砂丘館を応援しています）

吉田あられ株式会社 NSGグループ  新潟ビルサービス  丸屋本店  藤田金属

株式会社アトリエ・ジャム 

郷土の文化に親しむ会 書斎gallery 藤田 隆



藤原祥の展覧会を砂丘館で開きたいと思って、何年がたつだろう。

思い出すのは2008年に喜多村知展を開催したとき、新潟絵屋で藤原の個展があって藤原は砂丘館にその喜多村の展示を見に来た。

いつもつぶやくように、ぼそぼそと話す藤原が、けれど喜多村の絵に心底感じ入って、興奮していることが話していく私にも伝わってきた。

喜多村の風景画は、風景が風景でなくなるぎりぎりのところまで絵を疾駆させて、そのさいはて、際から、宝石の輝きを筆先にすくいとってくる。

その輝度に藤原が圧倒され感きわまっているのを感じて、私もなぜだろう、胸があつくなった。

「絵のきびしさ」というものを、いま絵を描く人はあまり意識しなくなったかも知れない。絵がワンノブゼム=美術の多様な表現のひとつになってきたこととも関係しているだろう。

立体も手がけ、どこかのほほんとしたユーモラスな気配をたたえる藤原の創作は、そんな今風の表現に近似しているようでもある。

けれど同時に、描くことが崖から落ちるか、際でとどまるかという厳しい場所に自らを追い込むことであった時代の感覚を藤原は生きてきたし、いまも生きている。

どこかふしげで、面白い絵や立体がけれど呼吸し、一方で向かい合うはげしく、きびしいもの。

そのまれさと貴さを、この展覧会であらためて感じたい。

大倉宏



砂丘館



旧日本銀行新潟支店長役宅

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体